

vol.62

2016年
5月27日
発行

日本山岳会

「高尾の森」



—小下沢風景林の森づくり活動—



小下沢の衛星電話用アンテナに「キセキレイ」が巣を作りました。
無事に旅経つことを祈るばかりです。窓は開けないようにしましょう。

はじめての 育樹祭

どのようになるか？やってみないと解らない！

しかしながら心配は無用であった。

石井実行委員長はじめ担当会員の周到な準備に支えられ
予定通り取り組むことができました。

100人を超える法人の皆さんに参加いただき、
また多くの差し入れも頂戴し感謝の一言です。
お疲れさまでした！！



無事に終えることが できました！

石井倫行

高尾の森づくりの会の植樹祭は、植栽地が満杯
になり今回から育樹祭に代わり、第1回育樹祭は、
4月10日（日）にベースから徒歩1時間のところ
の板当国有林で間伐作業を行いました。参加者
は法人会員103名（電源開発、伊藤ハム、アサヒ
ビール、グローリー、他）、高尾の森づくりの会
の会員82名で、総員185名でした。

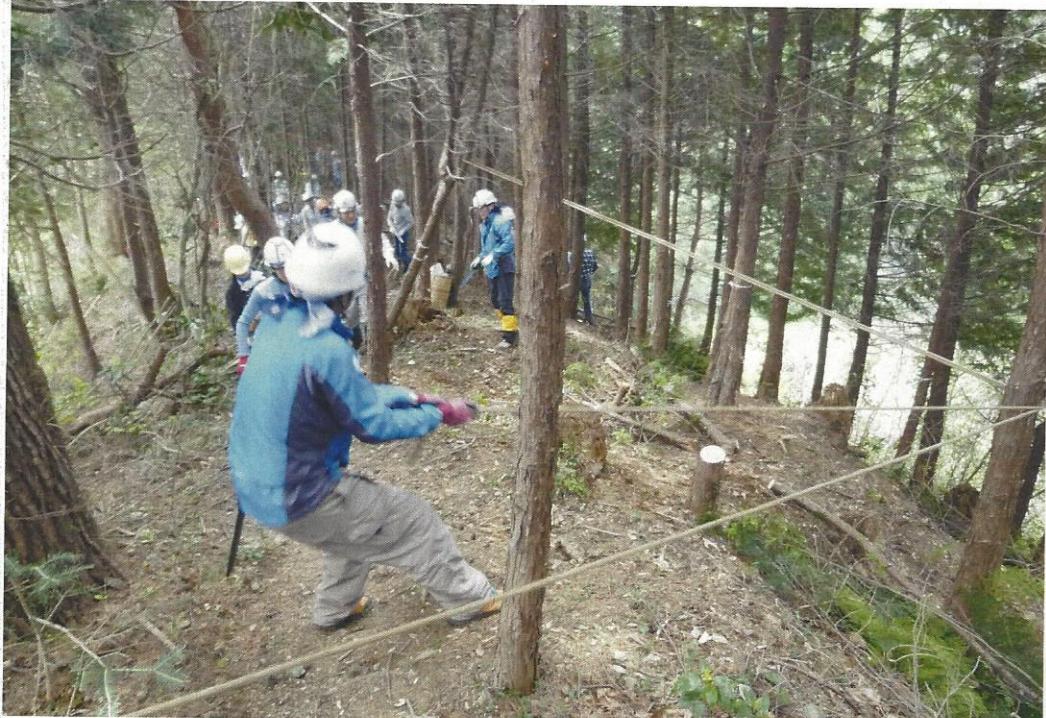
天候に恵まれ、17年生の檜の植林地で、107本を
手鋸で倒し汗を流しました。作業時間がもっと欲
しかったとの感想もあり、間伐作業が参加者に喜
んで戴けたと実感しました。そして来年も参加し
たいと若い人の発言もあり手ごたえを感じました。
懇親会は、豚肉、ソーセージ、ビール、ワイン、
日本酒など、法人会員様からの提供もあり盛大に
行うことが出来ました。用意されたトン汁など、
きれいに無くなり気持ちの良い懇親会でした。

今回は、育樹祭用横断幕を新調し、ドローンで
空から開会式の撮影を行い、概ね計画通りの進行
で楽しい1日を過ごしました。安全第一の作業指
導、会場整備、受付、キッチン班、緊急輸送車両
の待機など皆が役割を分担し、第1回育樹祭を無
事終えることが出来ました。

ここに関係各位に謝意を表します。

なお、今後、更に安全で、楽しい育樹祭になる
よう知恵をだし、回を重ねて行きたいものです。





二酸化炭素の削減に貢献できたらと

グローリーエンジニアリング株式会社
齋藤哲夫

グローリーエンジニアリング株式会社は1994年9月1日に東証1部上場のグローリー株式会社の子会社として設立されました。事業内容はグローリー株式会社が販売した商品（通貨処理機、釣銭機、たばこの自動販売機、自動券売機、遊戯市場等）、の修理及び修理部品の供給業務を請負っております。東京都大田区に本社を置き全国20か所に拠点を置き従業員約200名年間売上4,000,000千円（2015年度）の企業です。

2008年よりISO14001認証登録をして全社で環境保全活動を開始しました。紙・ゴミ・電気の活動から地域貢献の地域清掃を毎年実施しています。高尾の森植樹祭については会員の中田陽子さんとお付き合いがありぜひ参加してみてはということで最初は手探り状態で2名で参加をしました。植樹祭については2009年度より連続して参加をさせていただいて当初は4～6名でしたが最近は10名を超える従業員が参加しています。

植樹祭についてはまずベースキャンプまでの歩行、ベースキャンプから作業エリアへの山歩き植樹場所の急坂での命がけの植林と終わった後のベースキャンプでの暖かい豚汁、ビール、おつまみ等々で充実した一日を過ごさせていただいております。従来の植樹祭から今回は育樹祭ということで間伐作業も森を健康にして育っていくということに関しては植樹と同じ目的だ

と思っています。我々が植える木の本数は大変少なく、間伐によるエリアも広い面積ではありませんが、これが二酸化炭素の削減に貢献できたらと思い参加させていただいている。現在地球環境は後戻りのできないところまで来ております。再生可能エネルギーの使用率を上げ化石燃料の使用を抑えて二酸化炭素の排出量を抑制するのは地球人としての責務と考えています。

今後も高尾の森の活動に参加させていただきますので従業員ともどもよろしくお願いします。

もくじ

はじめての育樹祭	02
小下沢NOTE	04
京王親子森林体験スクール報告	06
サルナシ	06
苗木プロジェクト植樹体験イベント	07
TOPIX	07
高尾の森づくりの会の活動フィールドは どのようなところか?	08
高尾森林事務所へ配属されて	09
苗木栽培活動終了のご報告	10
会員紹介シリーズ⑤	10
実行委員会報告	11
事務局からのお知らせ	12

小下沢 NOTE 春

3月定例作業



道づくり班

6AB境界線

チェーンソー研修会

新人が増えると活発になります



城山小学校植樹



一戸作業チーム



4月滋慶学園植樹

仁藤作業チーム



日向作業チーム



植樹完了
午後2時22分





3月は城山小学校の植樹祭、4月は京王さんの親子森林体験スクールでの植樹祭、また参加者103名の法人会員様中心とした育樹祭が盛大に行われました。

研修会では皆川リーダー率いる「チェーンソー研修会」、

「滋慶学園」の皆さんも汗を流しました。

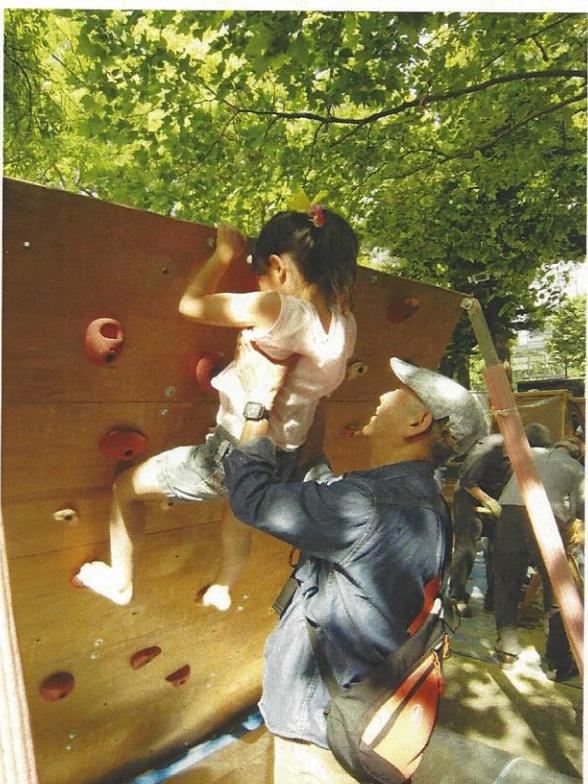
5月は京王親子森林体験スクール2回目、滋慶学園2回目、

日比谷公園では「みどりの感謝祭」にものづくり班が参加し、下旬には総会が行われます。

総会の報告はホームページに掲載し、8月の会報にも掲載の予定です。



フェスティバルにて。
右／人気の
親子による
ボルダリング風景。



ベースの作業
小屋も外壁塗
装してはや5
年が経ち今年
が塗装の年、
準備に入りました。

未来に任せ

京王親子森林体験スクール報告

私の担当は 体験学習を支える力作業

親子森林体験スクールは京王アカデミー構想に京王電鉄さんと高尾の森づくりの会が共同で実施し、森を「創る／育てる」観察・体験を通して、自然や森林の大切さを楽しみ・学んで頂くものです。第1回目は4月9日「自然観察と植樹」で開始。

高尾の森で10年継続する活動で、前リーダ（金子さん）の人柄とリーダシップから、多くの方が参加した成果です。

●森の体験学習は、何故「お前が」リーダなの？

森林資源（森つくり、木工）、自然観察（生態系、生物多様性）、ふれあい（野外活動、あそび）、地域（環境、文化）が重要なスクールの体験学習だそうです。

「こりゃ難しい！」

1月末からの活動は多忙です。植樹に向け間伐・地拵え・道づくりなど現場作業と安全な森林活動が必要です。植樹までに6回（延べ57人/日）の準備作業が続き、親子班、道づくり作業班、法人の作業支援や木工班など。ベース各班には、道具準備、名札作成などお願いし対応頂きました。感謝です。私の担当は体験学習を支える力作業と気づく、知識は当面不要のようだ。

ザリクボ滝の前で

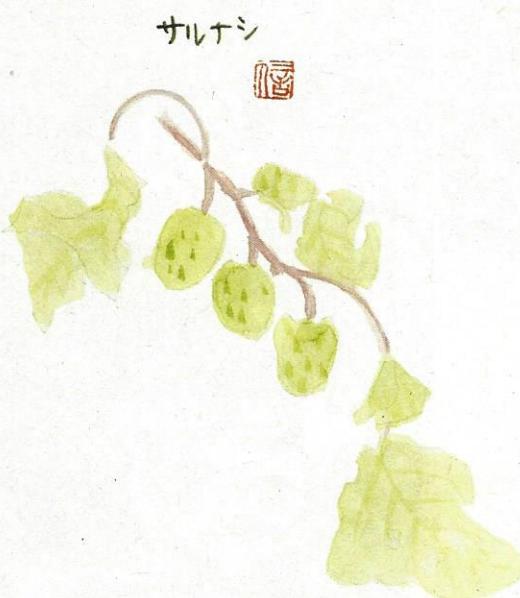


当日4月9日は京王（六車様、千坂様）、生徒26名。そして自然観察の知識人（源原／山崎／横川さん）が教材を持って、山野草観察で難しい話をしているではないか。

スタッフは17名、植樹後「ヤッホー!! バンザイ」と喜びを声にしました。

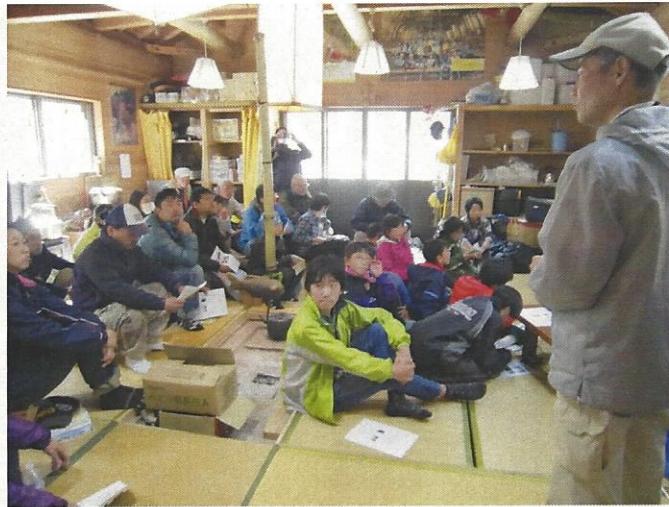
今後、5月広葉樹観察・丸太切り、6月下草刈・生物観察＆ドローン体験です。さて、いつ呑めるか？

大森 茂



落葉ツル性木本、マタタビに似るが葉がやや厚く、上面に光沢があり葉柄が赤く、マタタビのように枝先の葉が白くならない。
時折見かけたが少ない。

横川信由



苗木プロジェクト植樹体験イベント
苗木のお世話を大声で約束

春休みの初日の3月26日、春まだ早い小下沢で京王電鉄(株)主催の八王子市立城山小学校の「苗木プロジェクト植樹体験イベント」が実施されましたので報告します。参加者は児童：12名、保護者：9名、引率：7名の28名です。各自1本ずつ植樹しました。

本会は植栽地の提供と整備、植樹支援（有志連合）、作業小屋での座学「裏高尾に住む森の生き物たち」（山崎）、「森を守る必要性」（河西）を実施しました。昼食にキッチン班のトン汁が大変喜ばれました。

平成25年に京王電鉄（株）と本会は城山小学校で、「植物多様性授業」と「種子植え体験」を行ってきました。苗木は順調に育ち、今春植樹体験イベントを開催する運びとなりました。各種子は高尾産のオニグルミ、クヌギ、

コナラです。

イベント準備に際し、最大の課題は植栽地の確保でした。苦渋の判断として、小下沢15D植栽地の下部の藪地100m²を選定しました。日当たり、水脈は良いのですが、藪の下はガレ場です。昨年15Dで試行し、95%以上の着床実績の客土方式を適用しました。約100m離れた左上部森林より腐葉土を土嚢30個に詰め、ロープで吊り降し搬送しました。

城山小学校の皆さんには、植栽した植林による砂防ダムの構想を理解いただき、苗木のお世話を大声で約束して頂きました。

有志会員とメタウォータ（株）の皆さんには、治山工事に近い厳しい作業のご協力に感謝します。

仁藤正夫

TOPIX

全国林業改良普及協会広報コンクールにて、
ホームページ部門「**最優秀賞**」受賞
しましたのでご報告します。

審査員のコメントは次の通りです。

「日本山岳会 高尾の森づくりの会」は、森林整備活動に参加したいという人に対して心配りされているホームページです。バスの時刻表や活動地域の天気予報のリンクを張るなど使い手の立場に立っています。また、情報量が多く、鳥類、植物の紹介コーナーといった関心を引くコンテンツが多いことなどが高く評価されました。

私はこのコメントに付け加えるなら「スピード」です。
その日にアップする努力も大いに評価したいと思います。

(松川)

高尾の森づくりの会の活動フィールドは どのようなところか？ 生態観察班が地形地質をテーマに歩きました。



植物数が多く豊かに生育している高尾。生態観察班は、3月2日にその土台となる地形地質を観ることを目的に、冒険の森広場から小下沢両岸地域、ザリクボ沢、景信の滝（ザリクボの滝）、上の横道を歩き、永田新道を下り、逆さ沢の滝を観察しました。観察できたのは、富士見平直下及び小下沢に砂岩、角礫岩、頁岩、粘板岩など、また、ザリクボ沢一帯の頁岩、砂岩、角礫岩を観ました。硬い岩石であろう滝の岩質は鑑定できませんでした。チャートも発見できませんでしたが、高尾一帯が泥質岩で構成されていることを確認できた有意義な観察山行でした。以下、文献調査を含めた「小仏層群」について述べます。

私たちが活動している高尾山を中心とする八王子の山地一帯は、ダイナミックな地殻変動が起こっています。現在でも造山と山塊崩壊の最中にあり、今後も途方もない時間単位ですが、大きな変化が予想されます。山と山がぶつかり合い、せめぎ合っていると言う人もいます。

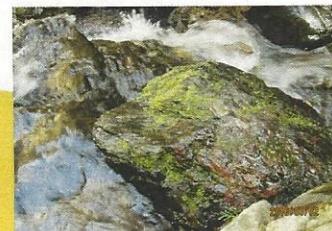
八王子の山地は、関東の銚子から南アルプス、紀伊半島、四国、九州までつながる四万十帯に含まれ、その中で関東山地に属しています。そして陣馬・高尾一帯の大半が小仏層群という地層です。四万十帯は、およそ1億1,000万年～2,300万年前に形成された「付加体」なのです。

付加体とは、海洋プレートの移動に伴いプレートに乗っかって海溝（プレートの沈み込み帯）まで達した海洋の堆積物（チャート・玄武岩・石灰岩など）が、大陸側から海溝に流れ込んできた碎屑物堆積岩（砂岩・泥岩）に覆われ、これらが沈み込めずに剥ぎ取られ混じり合いながら大陸側に押しつけられ張りついてできた地質体です。

さらにフィリピン海プレートに乗ってやってきた丹沢山地が、600万から400万年前に、この小仏層にぶつかり、そして伊豆半島が200万から100万年前にかけてぶつかり、この太平洋岸に連なる四万十帯は大きく内陸部へ押し込められ折れ曲がっているのです。

このためか、特に小仏峠周辺はどこを見ても水平にあるべきはずの堆積岩の頁岩・粘板岩が90度から70

逆さ沢の滝上部の硬い岩石
(頁岩? チャート?)



2016/03/21

生態調査班地形地質担当
中野紀邦・功刀正仁・小池鉄男

頁岩、砂岩、角礫岩などが混在している



度に傾いています。大きな地殻変動が表現されているのです。

高尾山一帯は、褶曲（しゅうきょく：堆積当時水平であった地層が、地殻変動で波状に曲がること）山地なのです。付加帯は断層や摺曲運動で地層は激しく変形し、上位の地層ほど新しいという通常の層位関係を示さないなど複雑な地形を形成しています。これにより地下水が豊かで谷沢は素より滝や湧水が多く見られるでしょう。さらに泥質岩による複雑な地形から高尾山の尾根に代表されるように、一つの山で冷温帶（北側）と暖帶（南側）に分かれるなどの気候的にも多様さを持ち、豊かな植生帯をつくっているのです。

その豊かさの土台である地形地質の調査は、高尾の自然を守る取り組みや、針広混交林の森づくり活動の一分野として大切であると思います。

余談ですが、この小仏層の時代特定は化石が少なく諸説あるのですが、今のところ、小仏層の形成はマンモスが跋扈していた時代とされており、高尾の森づくりの会がマンモスの化石を発見することも夢ではありません。

平成27年4月より高尾森林事務所森林官として、配属されました川井義則と申します。出身は茨城県大子町という人口1万8千人の町です。

有名なのか分かりませんが日本三大瀑布のひとつ「袋田の滝」（高尾山に比べると全然地味ですが……）や久慈川

という川が町内を流れています。冬になると川底の水が氷となって浮かび上がり流れていく「しが」という現象が起こります。この現象は、大子町と県境を挟んだ福島県矢祭町付近で見られます。袋田の滝も「氷瀑」という滝全体が凍結する現象もあります。最近では温暖化の影響でこのような現象も中々見られないと聞いています。このように冬は寒く、また夏は非常に暑くなる盆地のような町の出身です。

平成11年4月に東京営林局「現：関東森林管理局」に採用となり、以来伊豆森林管理署、天竜森林管理署、山梨森林管理事務所、茨城森林管理署、小笠原総合事務所国有林課（東京都小笠原村にある国の出先機関）と転勤し、現在の東京神奈川森林管理署高尾森林事務所へ配属されました。まさかまた東京都民とは考えてはなく他の県への転勤と思っていましたが、高尾へ引っ越してきて早くも1年も経ちました。

半分が自己紹介になりましたが、この事務所に配属され感じた事は、高尾山への登山者（正確には観光客？）がとても多い事に驚きました。さすが貴重な動植物が生息している場所へ都心より電車一本で足を運べて、さらにミシュランガイドの三つ星を獲得した場所だと思い、これは年間約300万人もの登山者数を誇る場所だと実感しました。

また、このように都心より近い山でありつつミシュランガイドの星の獲得に付随してか、ボランティア等の団体数も多いなと思いました。

このような場所で国の間伐推進という流れもあり、国有林事業でも間伐等を施業してきており、今までの担当者はだいぶ大変だったのでと思いますし、私も昨年担当して気を遣いましたし、間伐等以外の仕事でも心配や問題等気苦労がありました。

今まで転勤してきた中で、このように登山客やボランティア等が多い場所は無かったので、圧倒されながら仕事をしてきた一年間でした。

最後ですがもう一つ感じた事は、配属後の事務所管内の把握で山を見て回ると、私の感覚では高尾山地区全体の山が疲れているように感じ取れましたが、皆さんはどうでしょうか？

「苗木栽培活動終了のご報告」

白井聰一

高尾の森づくりの会では、2001～2015年の期間落葉広葉樹の苗木を植樹し、針広混交林の広葉樹比率を高める活動を行ってきました。その間に40樹種、18,000本強の苗木を植樹し育ててきました。

当初より苗木は業者から購入したものを使っておりましたが、高尾山在来の樹木遺伝子とは異なるものを他の遠隔地から持ち込みたくない、樹木を苗木からではなく種子から育てる体験をしてみたいとの考えに基づいて、2006年から苗木栽培活動（苗畑活動）を開始しました。

もともと苗木購入費用の節減を目的とした活動ではないため、高尾山の種子で育てた活着率の良い、丈夫な苗木を10%ほど供給してきました。立川の苗木栽培のプロの内野さんの畑を借り、指導を受けながらの楽しい活動でした。終了後畑の真ん中で開いたワインパーティは懐かしい思い出となりました。

最近になって佐川の森の一角に苗畑を移設しここで栽培を開始しました。ここは山の中のため、畑に生息するミミズや昆虫を求めてイノシシが出没、忌避剤などを用いましたが苗木の生産本数は上がりませんでした。おりしも、小下沢フィールドでは新たに植樹する場所がなくなり、今年から育樹祭に切り替わりました。

このような状況の下で苗畑活動はいったんここで終了することに致しました。この活動は10年以上続き、多くの方々に参加していただきました。苗木は山で大きく育っています。本当にありがとうございました。



「尾根道と古本と……」



会員紹介シリーズ⑤
村田 進

2009年7月に富士電機の法人会員として初めて参加させて頂きました。最初は下草刈りの手伝い気分で臨みましたが、真夏の日差しと急斜面作業で、汗まみれ疲労困憊だったことを今でも思い出します。以来皆様に大変お世話になっております。自己紹介を兼ねてマイブームを2つ程お話しします。

1つは近場の尾根歩きです。学生時代、会社に入ってからも好きな山歩きを続けてきました。著名な山にも憧れます。最近は名も知れぬ尾根道に心惹かれます。例えば景信山東尾根。端正な顔立ちの一本尾根です。昨年秋に景信の下山に利用しましたが、それは静かな山歩きとなりました。今注目しているのが板当作業場から北東に続く尾根道です。B班C班境界にある小ピークP494mからP349mを経て浅川板当橋に至るルート。顔立ちは無骨ですが走破したくなりました。

もう1つは古本屋巡りです。現地で探し歩くと思わぬ収穫があります。最近の掘出し物は「百円ハイク武藏野」なるガイド本。昭和30年発行のハイキング入門書です。60年前は100円あれば色々行けたようです。高尾山へは浅川駅!?から歩くルートが紹介されています。住宅開発で消えたハイキングコースもあるので、一度当時を偲んで歩いてみたいと思っています。

これからもボランティア精神に則って安全第一を最優先に作業を進めたいと思います。

実行委員会報告

日 時：2016.03.07

18時～20時

場 所：市ヶ谷

参加者：石井／河西
小南／小山
斎藤／白井
十河／馬場
日比野／松川
守永／山崎
吉川／龍
14名

内容

- 作業日程・管理署打ち合わせメモ・ふれあいの森における「高尾の森づくり活動」に係る協定書、全体活動計画書・年間活動計画書の提示。(事務局)
- 太陽光発電システム導入について（日比野）
- 育樹祭実施要綱案の説明（石井）
- ヘルメット更新計画の説明（松川）
- チーンソー防護服の購入の検討（道具班）
- ホームページに当会の「規約」を掲載（十河）
- 2016年度学童・学生関係の森づくり体験プロジェクト（ご依頼／報告）（大森）
- 総会について 白井会員・松川会員中心に総会改善チームを立ち上げ、どのような総会が良いのか実行委員会に提案してほしい。（代表）
- 山岳会看板製作のお礼、「山の弁当」アーバンさんで試作中。（吉川）

日 時：2016.04.04

18時～20時

場 所：市ヶ谷

参加者：石井／大森
河西／小木曾
小口／小南
小山／斎藤
白井／日比野
松川／守永
山崎／湯川
吉川／龍
16名

内容

- 山の日関連事業……山岳会へ提出した事業
(育樹祭／三宅／気仙沼／写真展示／日比野など)
板当国有林……道具小屋設置、林内歩道許可申請（事務局）
- 育樹祭……新法人、グローリーエンジニアリング社（斎藤）、
参加法人8社（64人）打ち上げ（50人）（石井）
- 総会……今年の総会の提案が承認される。5月28日（土）
新規約の説明……次回まで読んで再度意見交換しよう。（松川）
- 会計……貸借対照表・収支計算書・分野別収支状況表の説明
会員年会費がダウンしてきたとの問題提起。（湯川）
- ドローン……研修会報告・4月末までにKDDIさんに報告書提出の予定。（日比野）
- その他……京王親子森林体験スクール、慈恵学園（大森）

日 時：2016.04.26

18時～20時半

場 所：市ヶ谷

参加者：石井／河西
小木曾／小口
小山／鮫島
白井／高橋
十河／馬場
日比野／松川
松田／守永
山崎（喜）
湯川／吉川／龍
18名

内容

- 森林管理署との協定書 板当国有林伐採と作業道の届け（事務局）
- 育樹祭報告（石井実行委員長）
- 総会議案について
振り返り・決算報告・監査報告・今年の方針と予算・規約の改訂
(特に役員人数について 採決し10名以内と決まった。
規約の変更について事務局より提案があった。)
- 総会式次第の説明

事務局からのお知らせ

主な作業・行事記録

3/5(土) 森の研修会	15人
3/12(土) 定例作業(除間伐)	79人
4/9(土) 定例作業(除間伐)	115人
4/10(日) 育樹祭	187人
4/23(土) 慈慶学園学生森林体験	55人
5/14(土) 定例作業(除間伐、下刈)	107人
5/14~15 緑の感謝祭フェスティバル	のべ45人
5/19~22 三宅島緑化再生プロジェクト	のべ64人
5/21(土) 慈慶学園学生森林体験	56人

- 集合場所・時間：高尾の森ベース9:30集合。車で来る方は、高尾駅北口京王路線バス停（甲州街道）からの相乗りに協力下さい。
- 参加連絡：事務局/龍久仁人あてご連絡下さい。
E-mail : ryu-kun@cablenet.ne.jp Fax : 048-254-2852
はがき : 〒332-0031 川口市青木1-21-7-402
- 体験参加を希望される方は、上記事務局あてに申し込んでください。
(住所、氏名、電話、メールアドレス記載)

入会者紹介

2月以降、次の方が入会されました。
相澤篤、河野孝平、石黒司、山田明、三浦仁

今後の主な作業・行事スケジュール

6/4(土) 森の研修会
6/11(土) 定例作業(除間伐、下刈)
6/19~22 気仙沼大島森林再生プロジェクト
7/2~7 ラオス展示林造成プロジェクト植樹ツアー
7/9(土) 定例作業(除間伐、下刈)
8/13(土) 定例作業(除間伐、下刈)
8/22~23 清新小父子キャンプ

毎週(木) 第3(土) ものづくり・小屋管理班作業日
第1(水) 生態調査班作業日
第3(日) 機械作業班作業日

2016年度 会費・保険料納入のお願い

会費納入がまだ済んでない方は急ぎ納入をお願いします。振込先等の詳細は2月発行の61号を参照下さい。会費納入が滞り連絡のない方は退会とみなし会員名簿の整理をさせていただきます。

看板の更新

3月28日(月)日本山岳会市ヶ谷事務所の入り口にあった看板を更新いたしました。ものづくり班の三葉さん、仲さんの力作です。山岳会のますますの発展にほんの少し貢献できたでしょうか？



衛星電話 の かけかた



- ベースの衛星電話に電話がかかると、小屋に取り付けたパトライトが点灯します。誰かが電話にいます。ただ携帯が海外通話可能の設定になっていないとかかりません。
- 市街地からベースに掛けるときも A と同じです
ただし固定電話は違います。最初に 010 を押し 870-776-468-081 です。
自宅の電話に登録しましょう。

編 集 後 記

「実行委員会報告」を掲載した。我々の活動の「みえる化」だ。どんな内容を話しているのか?紙面の都合で項目しか掲載できないが近々にはホームページで詳細がわかるようにしたいと思っている。
(松川)